



神崎小だより

神崎町立神崎小学校
平成30年7月20日

学校教育目標…心豊かでたくましく生きる児童の育成
めざす児童像…なかよく かしこく たくましく やりぬく
合言葉… 「希望の登校 満足の下校」
早寝・早起き・朝ご飯

1学期が今日で終わりました。保護者の皆様方には、この1学期間の本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

本日の終業式では、1学期を振り返ってということで、代表児童の6年生池上すずさんや2年生伊藤蒼さんに発表をしていただきました。具体的な振り返りと来学期への抱負の発表があり、とても良い発表でした。また、個々の子供たちの努力の成果は、本日、担任の先生から手渡された通知表に記されていますので、教科の評定や所見等をじっくりとご覧いただき、今後に生かせるように保護者の皆様からも助言いただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

さて、明日から40日間の長期休業が始まります。この休みは、自律と自立をベースにめざす児童像の「かしこく」「たくましく」「やりぬく」を意識して充実した毎日を過ごせるように頑張ってもらいたいと思います。各学年では、休みをどのように過ごしていくかを子供たちが計画を立てていますので、計画に沿って主体的に行動できるように、子供たちを見守るとともに、必要に応じてご指導くださいますようお願いいたします。また、事故や怪我に注意するとともに自然災害等についてもどのように対応するかを話し合ってお家の方がいない場合も正しく判断し行動できるように助言ください。子供たちが、たくましく成長し、元気に2学期が始められるよう願っています。

自分の命は自分で守る～着衣泳を通して～

7月13日（金）に印西市・白井市で消防士としてお仕事をされている郡司さん（本校児童の保護者でもあります）と同僚の方の杉田さんを講師に招いて、着衣泳のご指導をいただきました。指導は、1・2・3年のグループと4・5・6年のグループの2回に分けてご指導いただきました。水難事故に自身が遭遇した場合の対処の仕方（溺れている人を子供の手で助けるのは危険なこと等）や自分が当事者になってしまった場合の留意点（顔を水面上に出せるようにした身体の浮かせ方等）を教えてくださいました。夜勤明けでお疲れのところ、夏休み前の子供たちの安全のために暑い中をご指導いただきましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。



水に浮くものには、どんなものがあるかを実験してみました。ランドセル、ボール、靴、ウィンドブレーカーなど



服を着た状態で泳いでみました。服を着た状態では、なかなか泳げないことを実体験することができました。



ペットボトルを胸に抱いて、どれだけ浮いていられるか体験してみました。目と鼻、口などしっかりと水面に出して上手に浮かべました。

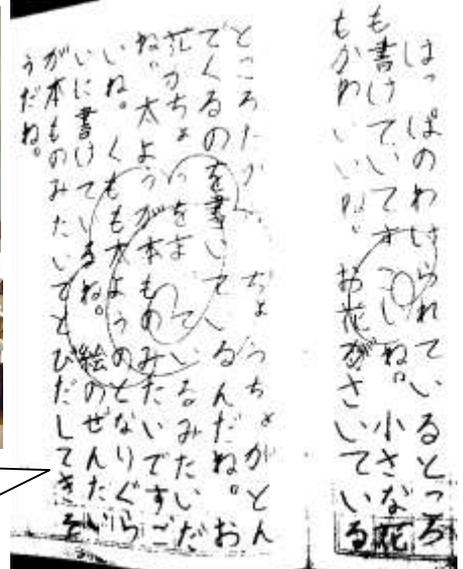
3年生 ワクワク集会

子供たちが、先生の指導の下、ワクワク集会（お楽しみ会）を企画運営し楽しい時間を過ごしました。ダンスやマジックや創作の物語などを個人やグループで披露しました。笑顔がたくさんあふれていました。しっかりと聞けない見られない人がいた時には、自分たちで注意しあって運営できていました。これが自治の力へと発展してくれることを期待しています。



2年生国語「うれしくなる言葉」

国語の教材で右のような教科書にある絵を見て、褒める言葉を考えようという学習をしました。一人一人絵の捉え方が異なりいろいろな褒め方があり、表現の仕方について学ぶ学習ができました。グループで一人一人、自分が書いた文章を読み合い、一番いいものをグループで取り上げ、なぜそれを取り上げたのか理由も付け加えながら発表し、互いに聞き合いました。多様な見方や感じ方、表現方法があることに気づきました。



椎名香羽さんの褒め方が参考になりました。

道徳の評価について

今年度から道徳が教科となり、道徳の教科書を使って学習を行うようになりました。もちろんこれまで道徳の授業は行ってきたわけですが、これまでと異なる点は、教科書を使って学習する点と評価がきちんと位置付けられ、通知表や指導要録にも記載することが義務付けられました。しかし、**教科でありながら国語や算数といった教科とは異なる点**があります。この点について、少し説明をさせていただきます。

道徳科は・・・

- ① 数値による評価はしない
- ② 比較による相対評価ではなく、個人内評価である
- ③ 他と比較し、優劣を決めるものではない

おもいやり
(平成八年竣
工記念碑)



個々の子供の中での成長や変容について、積極的に認め励ますプラスの評価であって、他の教科のように到達目標があって、どの程度目標が達成できたのかを数値によってあらわすものではない。したがって、1・2・3やA・B・Cといった数値による評価ではなく、文章による表現になる。また、道徳科の授業における子供の評価であって、授業で学んだことが生活の中でどのような行動となって実践できたかということについては、評価の対象としていない。あくまでも授業中の子供の様子を評価の対象としている。(小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編参照)

本校では、めざす児童像の「なかよく」「かしこく」「たくましく」「やりぬく」を育成するために、特に次のこと（価値）について重点を置いて指導していきます。

生命の尊重、思いやり、友情と信頼、善悪の判断、自立・自由と責任、規則の尊重、努力と強い意志、集団生活の充実などです。